

# 各都道府県栄養士会災害対応における

## アクションカード運用マニュアル

### 1. アクションカードとは

大規模災害が発生したとき、被災地域の都道府県栄養士会長及び事務局職員、日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)に登録している JDA-DAT リーダー及びスタッフ等は、日本栄養士会災害支援チームマニュアル（基礎編）「以下、マニュアル（基礎編）」に基づき受援体制を整えることになります。

しかし、発災時は混乱している中で活動することは難しいことが予想され、限られた人数で栄養・食生活のニーズの支援に対応することが求められます。

そこで、限られた人数や資源で効率的に緊急対応を行うことを目的に作成するのが「アクションカード」です。

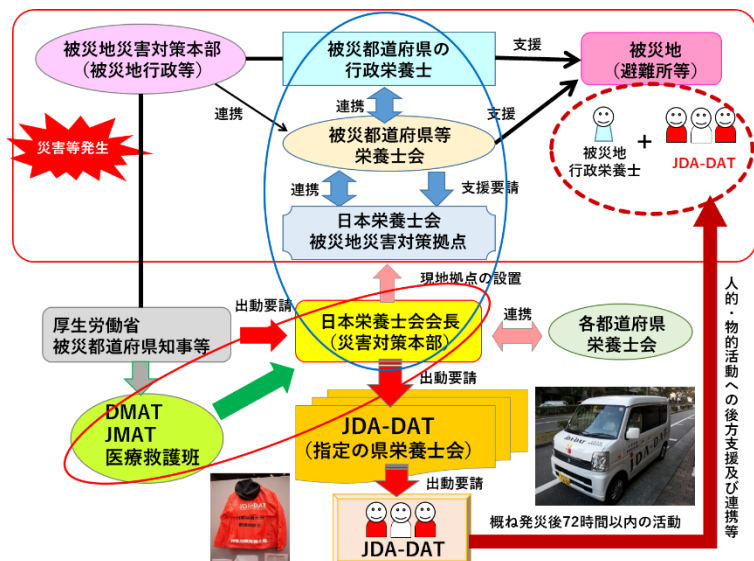
それぞれのアクションカードは、この役割に対する具体的な指示が書き込まれており、その役割について人がアクションカードを読めば、必要な行動がわかるようになっています。このアクションカードは、各都道府県栄養士会の状況により対応等について変更し、日々更新されるものであり、これからも訓練等で使用し改正を行っていく必要があります。

### 2. 被災地の都道府県栄養士会の栄養・食生活に係るアクションカード

JDA-DAT は、日本国内外で大規模な地震、台風等の自然災害（以下、「災害」）が発生した場合に、迅速に被災地内の医療、福祉、行政栄養部門と協力して緊急栄養補給物資等の支援を行います。（右図 JDA-DAT の活動支援イメージ）

このアクションカードでは、日本栄養士会災害支援チームマニュアル（基礎編）に準じて、被災地の都道府県栄養士会が、指示命令系統が行えるように具

体的な行動や各自が責任を持つ役割について明記しています。



### 3. アクションカード運用マニュアル

アクションカードに明記した語句のうち、共通言語として必要な語句には、数字（上つき）で示し、説明事項を以下に示しています。

◆共通事項：用語の定義（略称）

- ・「県栄」：47 都道府県栄養士会
- ・「日栄」：日本栄養士会

## I. 発災 被災県栄養士会会長用アクションカード

### 1. 各県栄危機管理マニュアル

各栄養士会で定められている地震、火災その他の災害に対処するためのマニュアルです。日栄では、『日本栄養士会における災害対策マニュアル』として整備しています。

平時の災害対策、災害発生時の対応、災害発生時の業務としてまとめ、緊急連絡網や初動体制等を含んでいます。あらかじめ、こうしたマニュアルに、リーダー、スタッフの動員条件等を記載しておく動きやすいでしょう。

### 2. 県庁の行政栄養士

災害時に、行政機関の連絡窓口となる、本庁栄養主管課の管理栄養士を指します。

事前に担当者の確認、発災時の状況確認、連絡体制について協議しておくといでしょう。

例) 本庁栄養主管課連絡先

所属名	担当者名	連絡先（電話）

### 3. 保健医療調整本部等

大規模災害時に保健医療活動に係る体制整備のため保健医療調整本部が設置されます。救護班（医療チーム）や DMAT 本部等が担う場合もあります。

（参考資料 通知 平成 29 年 7 月 5 日 各都道府県知事宛 大規模災害時の保健医療活動に係る体制の整備について）

### 4. 栄養ニーズ、要配慮者等

災害対策基本法では、要配慮者とは、「高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する者」と定義されています。

## 5. 県栄養士等

各栄養士会の三役や、JDA-DAT 責任者等も相当します。

## 6. 県栄養災害対策本部および、特殊栄養食品ステーションの設置場所

原則は、栄養士会事務局へ設置します。特殊栄養食品ステーションについては、事前に設置場所を検討しておくとい良いでしょう。例えば、県庁、保健所、市町村保健センター、大学、社協等が考えられます。

## II. 災害対策本部 災害対策本部等確認事項チェックリスト

### 1. ライティングシート

災害時には「全体から見える様に板書」の記載や「大きな地図に図や線を書き込む作業」を行うのは大変な事です。

ライティングシートは、静電気によって貼り付く為、平らな面であれば壁面や地図に直接貼り付ける事が可能です。画鋏などが無くても貼り付くので、壁を傷つける心配もありません。

また、白色タイプを用いれば壁をホワイトボードとして使う事も出来るので、突然の会議であってもスペースさえ確保出来れば行う事が可能になります。

シートとともに複数の色のホワイトボード用のペンを準備しておくとい良いでしょう。

参考) どこでもシート

<https://www.sailor.co.jp/lineup/dokodemo-sheet>

### 2. 大規模災害時の栄養・食生活支援活動ガイドライン

平成 30 年度地域保健総合推進事業「大規模災害における栄養・食生活支援活動の連携体制と人材育成に関する研究」においてまとめられた「大規模災害時の栄養・食生活支援活動ガイドライン～その時、自治体職員は何をするか～」では、自治体職員を主な対象としたガイドラインが示されています。

大規模災害時の栄養・食生活支援体制及び支援活動や平常時の準備、各帳票類、災害関係通知一覧などが掲載されています。

保健所管理栄養士会ホームページからダウンロードできますので、事前に印刷して整備しておくとい良いでしょう。

参考) 保健所管理栄養士会ホームページ

<http://www.hc-kanri.jp/03/pdf/2018.zip>

### 3. 災害時用の資料一式（日本栄養士会）

万が一の被災時に、栄養・食生活を支援するための管理栄養士・栄養士等専門職向けの解説資料と、「災害時の栄養・食生活支援マニュアル」、「JDA-DAT 備蓄食料品を使った簡単レシピなど、避難生活を送られている方々の食生活の参考としていただくための資料です。

日本栄養士会災害支援チームマニュアル（基礎編）も掲載されています。

<https://www.dietitian.or.jp/about/concept/jdadat/#anc-03>

## V. 災害対策本部 本部長（県栄養士会会長）

- ・被災県の保健医療調整本部会議は、朝夕に開催されることが多く、必ず出席できるように調整します。
- ・被害状況に応じた人員の配置の検討、重点支援領域の決定、また避難所のお弁当提供状況を把握しながら、サプリメント等を導入する必要性があるか等、検討します。

参考資料)

○H e L P \_ S C R E A M (助けてと叫ぶ)

活動開始・本部立ち上げにおける原則となる、災害時の共通言語です。

HeLP\_SCRAM

**Hello** : 挨拶

**Location** : 本部棟場所の確保

**Pert** : 役割分担

**Safety** : 安全確認

**Communication** : 連絡手段の確保

**Report** : 上への報告

**Equipment** : 物品準備

**Assessment** : 評価 (人・物の過不足)

**METHANE** : 情報の発信

○M E T H A N E

災害時に収集する情報をまとめたものです。

METHANE

**Major incident** : 大事故災害 「待機」または「宣言」

**Exact location** : 正確な発生場所 地図の座標

**Type of incident** : 事故・災害の種類 (鉄道事故、化学災害、地震など)

**Hazard** : 危険性 現状と拡大の可能性

**Access** : 到達経路 進入方向

**Number of casualties** : 負傷者数 重症度、外傷分類

**Emergency services** : 緊急対応すべき機関

—現状と今後必要となる対応

例)

M (名前と災害の大きさ) : 私は〇〇です。地震が発生。

E (正確な場所) : 場所は〇〇県〇〇市です。

T (事故の種類) : 大地震による家屋の崩壊です。

H (危険物、障害物) : 道路にがれきが散乱しています。

A (アクセス) : 進入路があるかわかりません。

N (傷病者数) : 傷病者数は300人以上と推定されます。

E (消防・救急活動) : 活動状態は未確認。